

2026年度 高校数学の進度計画

1. 時数配当表

コマ数は授業の回数、月数は週2コマで授業を行った場合の期間を月単位で表しています。実際の授業回数は生徒によって変わりますので、あくまで平均的なものと考えてください。

ステージ	指導項目	コマ数	月数	理1	理2	文1	文2	授業で使う主な教材
基礎	① 数学Ⅰ・A	60	7.3	○	○	○	○	リード問題集
	② 数学Ⅱ・B(数列)・C(ベクトル)	87	10.7	○	○	○	○	
	③ 数学B(統計)	12	1.5			○	○	tutorialシリーズ(オリジナル教材)
	④ 数学C(曲線・複素数平面)	16	2.0	○	○			
	⑤ 数学Ⅲ	50	6.1	○				
応用	⑥ 共通テスト 単元別演習	*	*		○	○	○	駿台短期攻略・共テ模試過去問
	⑦ 入試問題演習 数ⅠAⅡBC(文系)	*	*			○		河合プラチカ文系・河合厳選文系
	⑧ 入試問題演習 数ⅠAⅡBC(理系)	*	*	○	○			河合プラチカ理系
	⑨ 入試問題演習 数ⅢC	*	*	○				河合厳選理系
実戦	⑩ 共通テスト 実戦演習	*	*	○	○	○	○	河合黒本・駿台青本・本試追試過去問
	⑪ 大学別 過去問演習	*	*	○	○	○		大学別過去問(赤本等)

応用・実戦ステージには、基礎ステージの完成後に残った全ての時間を割り当てます。各指導項目への時間配分はその時点の状況に応じて調節するため*(未定)としています。

(1) 受験型

国公立入試を軸に、受験に必要な数学の範囲を4通りのパターンに分けています。

- ・ 理1型 … 理系で、共テと個別試験の両方で数学が必要。個別試験の出題範囲は数学Ⅲを含む全範囲。
- ・ 理2型 … 理系で、共テと個別試験の両方で数学が必要。個別試験の出題範囲には数学Ⅲが含まれない。
- ・ 文1型 … 文系で、共テと個別試験で数学が必要。個別試験は数学ⅠAⅡと数学BCの数列・ベクトル。
- ・ 文2型 … 文系で、数学は共テのみ。共テは数学ⅠA・数学ⅡBCの両方が必要。

上記以外の受験型(私立入試、推薦入試)については個別に対応します。

(2) ステージ

学習内容や目的に応じて、高校の3年間を大きく3つのステージに分けています。

- ・ 基礎 … 理論の習得と基本的な問題演習。高校で学習する内容を一通り習得し、基本的な解法を身につけます。
- ・ 応用 … 入試レベルへのステップアップ。より高度な思考力を要する問題を通じて、応用力を養成します。
- ・ 実戦 … 受験する大学にターゲットを絞った演習。入試本番を想定し、戦略的に問題を解く力を鍛えます。

基礎ステージに最も長い時間がかかります。高校数学を高1の4月から開始した場合、基礎ステージに必要なとなる平均的な期間、および完成時期は次のようになります。(週2コマで授業を行った場合)

受験型	基礎ステージのコマ数	基礎ステージの期間	基礎ステージの完成時期
理1型	213コマ	約26か月	高3の5月末
理2型	163コマ	約20か月	高2の11月末
文1型・文2型	159コマ	約19.5か月	高2の11月中旬

基礎ステージは重要ですが、この期間をできるだけ短縮し、応用・実戦ステージになるべく多くの時間を確保することが、大学受験を有利に進めるためのカギになります。

2. 受験型・授業ペースの選択

(1) 受験型の選択

最初は、理系は理1型、文系は文1型を想定しておくことをお勧めします。受験に必要な科目・内容にターゲットを絞るようになるのは、具体的な志望が固まってからです。それまでは学習する全ての内容を受験に使う可能性を想定しておいてください。

理系と文系の選択も、高1の開始時点では決められないかもしれませんが、基礎ステージの①、②を学習している間は、学習内容に理系と文系の違いはほとんどありませんので、しばらくは未定のままでも構いません。理系・文系を決定する時期は学校と同じ(高2の選択科目を決める時)で結構です。

(2) 授業ペース(週あたりのコマ数)

授業ペースによる高校3年間の総授業回数は次のようになります。

授業ペース	高1の4月から高3の2月までの総授業回数
週1コマ	143コマ
週2コマ	286コマ

週1コマと週2コマでは指導時間に2倍の違いがあり、両者に同じ指導計画は当然通用しません。ここまで挙げた指導計画はすべて週2コマを前提としています。この内容を週1コマで進めると、学校の進捗にも追いつかず、3年かけても基礎ステージを終えることができません。

そこで、週1コマの場合、基礎ステージの内容を約半分に削ってでも、学校に引き離されないことと、受験対策(応用・実戦ステージ)に時間を残すことを優先します。この場合、進行をリードするのは学校となり、当塾はそれを補助する役に回ります。学校の授業に対する補足的な説明や、重要問題や苦手な問題に重点を置いた復習を行います。この方法では部分的な指導しかできず、高校数学の完全なカバーはできないことをご了承ください。

(3) 授業ペースの再検討

基礎ステージは文系・理系に関わらず週2コマのペースが必要ですが、その後の応用・実戦ステージでは入試科目における数学のウェイトに応じて授業のペースを再検討してください。例えば、文系・週2コマでは、高2の11月で基礎ステージが終わりますが、もし数学を共通テストにしか使わないことが確定していれば、その後は週1コマに減らし、他の科目の学習時間を増やすのが得策です。再検討の必要があれば当塾からお知らせします。

3. (参考) 共通テストの選択問題

現在、共通テストの数学BCは、次の(ア)～(エ)の4問から3問を選択して解答する方式になっています。理系・文系別に、多くの受験生が選択する問題を○印で示します。

	科目	出題内容	理系	文系	対応する指導項目
(ア)	数学B	数列	○	○	②
(イ)	数学C	ベクトル	○	○	
(ウ)	数学B	統計		○	③
(エ)	数学C	曲線・複素数平面	○		④

(ア)と(イ)は理系・文系に関係なく学校で必修の扱いになっているので、この2つはほとんど全員が選択します。

(ウ)と(エ)の選択については個別試験での必要性を考慮する必要があります。理系の場合、(ウ)は個別試験ではほぼ出題されないで、(ウ)の学習時間を節約して(エ)の学習に力を入れた方が有利になります。文系の場合、(ウ)と(エ)のどちらも個別試験に出題されないで、共通テストだけの都合で選ぶことができ、通常はより易しい(ウ)を選びます。

当塾の理系・文系への指導項目の選定は、この選択傾向に合わせています。理想としては、理系の生徒には数学Bの統計まで含めて全て指導すべきですが、限られた時間をなるべく受験に有効な内容に充てるため、やむを得ず省いています。